

授業のタイトル(科目名) 精神保健福祉の原理	授業の種類 印刷教材 面接授業(オンデマンド)
時間数 印刷教材時間数:162時間(課題提出回数:2回) 面接授業(オンデマンド授業視聴)時間数:6時間	必修科目
<p>【授業の目的・ねらい】</p> <p>①「障害者」に対する思想や障害者の社会的立場の変遷から、障害者福祉の基本的枠組み(理念・視点・関係性)について理解する。</p> <p>② 精神保健福祉士が対象とする「精神障害者」の定義とその障害特性を構造的に理解するとともに、精神障害者の生活実態について学ぶ。</p> <p>③ 精神疾患や精神障害をもつ当事者の社会的立場や処遇内容の変遷をふまえ、それに対する問題意識をもつ価値観を体得する。</p> <p>④ 精神障害者へのかかわりについて、精神医学ソーシャルワーカーが構築してきた固有の価値を学び、精神保健福祉士の存在意義を理解して職業的アイデンティティの基礎を築く。</p> <p>⑤ 現在の精神保健福祉士の基本的枠組み(理念・視点・関係性)と倫理綱領に基づく職責について理解する。</p> <p>⑥ 精神保健福祉士を規定する法律と倫理綱領を把握し、求められる機能や役割を理解する。</p> <p>⑦ 近年の精神保健福祉の動向を踏まえ、精神保健福祉士の職域と業務特性を理解する。</p> <p>【授業全体の内容の概要】</p> <p>① 障害者福祉の思想と原理、歴史的展開について学ぶ</p> <p>② 精神障害と精神障害者の概念について理解し、制度における精神障害者の定義について学ぶ。</p> <p>③ 精神障害者の社会的排除と社会的障壁をめぐる諸外国の動向、日本における歴史と課題について学ぶ。</p> <p>④ 精神障害者の社会的生活やその家族の置かれている状況など、生活実態について学ぶ。</p> <p>⑤ 「精神保健福祉士」の資格化の経緯と精神保健福祉の原理と理念について学ぶ。</p> <p>⑥ 職業倫理・職域・業務内容といった「精神保健福祉士」の役割と機能について学ぶ。</p>	
<p>【使用テキスト・参考文献】</p> <p>最新 精神保健福祉士養成講座5 「精神保健福祉の原理」 一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集 中央法規出版</p>	<p>【単位認定の方法及び基準】</p> <p>次の各項目の総合評価による ・所定回数の課題提出およびその評価 ・面接授業(オンデマンド授業)の全時間視聴 ・面接授業(オンデマンド授業)の確認テスト結果</p>